

「みちしるべ」あれこれ(2)

海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群(5)

前回に引き続き、「みちしるべ」の紹介です。まず皿山公園の町立歴史民俗資料館の裏手に移設されている石碑(A)です。各方向からの写真を4点と一部を拡大したものを1点用意しました。A-1は右面と左面を同時に見る方向からの写真です。A-2は左面を写しています。次のように書かれています。

「左 上須恵・新原・海軍四坑
宇美・太宰府」

A-3は同じく右面です。須恵停車場は現在の須恵駅のことです。第五坑は志免で、今のボタ山は五坑ボタ山と呼ばれています。第六坑は旅石で、現在の須恵高校付近です。A-4は右面の文字の部分を拡大しています。

「右 須恵停車場・植木・旅石
志免海軍五六坑」

A-5は碑の裏面に当たりますが、

「大正七年一月

須原□太郎」

と書かれています。一九一八年、今から九〇年前に建てられたことがわかります。

次に、Bは新原バス停留前の交差点角に立っている碑で、猿田彦と並んでいます。創業記念碑の位置を案内しています。「南方一丁」の右にも文字があるようですが、読み取れません。「新原」と書いてあるようにも見えます。

創業記念碑のある新原公園入り口に立っているのがCです。

「海軍炭礦創業記念碑
南方一丁」

「表 海軍炭礦創業記念碑 在茲苑内
左 紳士淑女杖駕

裏 昭和十三成寅年秋十一月」

紳士淑女、駕を枉げよ、とは、通りかかった人は立ち寄って歴史を偲んでくださいという意味でしょう。Dは新原公園内に移設されて保存されているものです。

「前 是ヨリ西十五米元海軍採炭所第二坑竪坑趾

左 昭和二十七年八月建之 新原部落」
明治二十三年に新原採炭所が置かれ、三十三年から海軍採炭所と名前が変わります。第二坑は早期に開発された炭坑で、次第に志免・旅石へと移り、昭和十年に第八坑が開発されます。



A-5



A-1



A-2



A-3



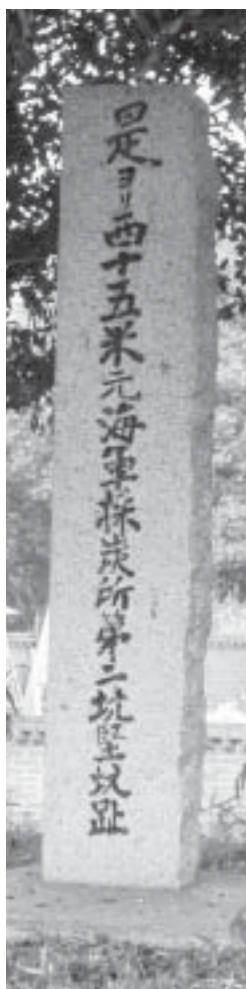
B



A-4



C



D